

水源禪師法話集 81

(2017年6月17日 東京法話会 1日目)

2019年2月11日

一乗禪の会



目次

水源禅師法話

本当の宇宙の法則はお釈迦様の教え、その中で心の進化が出来る.....	3
大地が法の中・同じ様に三拝～読経～そして瞑想.....	6
お釈迦様、達磨大師、印幻禅師、水源禅師と受け継がれていく正法.....	8
4つの心処「慈悲喜捨」を体得して愛の心を大きくして下さい.....	12
68年前のサンカーラが湧き上がってくる、これを消さなければ、	16
宇宙の最高のご褒美のこの体を使っての「瞑想」、これしかない.....	19
社会に貢献しているスリランカ・韓国・中国・チベットの比丘達.....	20
スリランカでの水源禅師の農民・学校に向けての指南.....	23
日本の食文化の素晴らしさ.....	24
本当の聖書の訳はとても困難、佛教の方がまだ正確.....	25
ブッダヨガ.....	27

質疑応答

チベット死者の書について.....	29
間違った宗教の場合何処に吹っ飛ぶかわからない.....	30
神に男神、女神があるという事を隠していた.....	33
念仏とは？.....	34
心即是仏.....	35
自分で走って歩いて、自分で山を登る.....	36
ニミッタについて.....	38
瞑想するのが一番.....	41
帰依することによって、サティ、マインドフルネスが発生する.....	42
寝ているのか起きているのか分からない.....	42
ナーマルーパ。アニッチャ、ドウッカ、アナッタ.....	43
第三の目で見ると.....	47
認知症というのは、五蘊のつながりが断絶している.....	48
中国は二千年前、全世界と交易をしていた.....	52

水源禪師法話

本当の宇宙の法則はお釈迦様の教え、その中で心の進化ができる

【水源師】

やっぱり何が大切かと言ったら、実際の生活にどういう風に活かすかと。ということでお話したら、(スリランカの方々)ものすごく賛同して。というのは結局、お釈迦様がどうして悟りをひらいて、どうして涅槃に達するかという、ここなのです。これが受想行識の般若心経のところに書いてありますけども、私は般若心経でこれを説明したわけですね。こう、瞑想から出るところを。そしたらもう、ものすごくスリランカのひとたちが喜んでしまっただけ。

それで、一般の人はそういう風に体験できなくても、そういう法の中でどうして生きていけばいいかということで、農業の貧しい農村の方の生活向上をいかにするべきか？ということ。医療制度も、体ね。体が悪ければ何も出来ないから。これをいかにどうすればいいかと。で、若い人たちにはどうして仕事を作らなければいいかという。まあそういうことを言って、あなたたちが研究しなさい、と。

まあ 2600 名いる高校の先生方がもうすごく喜んで、「あなたの言っていることはマハトマ・ガンジーさんと同じことを言っています。」とショックを受けて。早速一乗会を作るといふ。これを全スリランカに広めます、と。そしたら今度はその後、全インドに行きますと。大変な事なのです(笑)。ということを結局、みんなバラバラにそれぞれの経典の中でやっていたでしょう？世界は動いているから、ただこう話したらやっぱり実現性があるようで。だからもう病院を作り始めて。病院です。不思議な病院で。スリランカにはありとあらゆる薬草があるのですよ。すべての病を治す薬草が。それを知っているわけです、そのやり方での病院。

苦しい経済の家の高校生はお腹がすいて勉強できない高校生がいっぱいいるわけです。だからその人たちにどういう風にして食べさせるかと。まず学校で食堂を開いて働かせて。金のある生徒に買ってもらって、残りを食べさせなさいと。それは良いことだと。お腹が空いて頭フラフラだったら勉強できないでしょう？私と同じ年齢の老人はもう激しく働いているのですね。それでもこうニコニコして、貧しい中でもニコニコして、裸足で、本当に裸みただけでも、こう野菜を植えて。それで、かわいそうだなと思ったけど、こっちの大病院で施設も素晴らしい所で、それでも体動かないで苦しむよりは、そうやって法の中で生きているほうが良いのじゃ、ないかなー。本当に良いと思う。まあ寿命の中で静かに、良いところに行く、と。来世があるから。私と一つ年下の方が

ね、私 70 歳だけど、お寺と一体になっているみたいですね、筋肉モリモリ。朝から晩までお寺の土を掘り起こしてお寺を作って、石を上げて、まあそんな感じで。

これから、西洋文明と呼ばれている日本、ヨーロッパ、それから北米はこれから大変な精神的なダメージを受けます。既に機械化によって。今のこの機械化はニコラ・テスラという 1800 後年代からの技術で外宇宙的なものなのですね。これにまっしぐらに進んでいるから、私たちの地上の文明が今まで来たのとは相反するやり方。特にイスラムは徹底的にそういう、仏像とか破壊するし、よほどしっかり物事を見なければこれから機械化文明の中でもう完全に息が詰まるような生き方になってしまいます。

本当に法を求めるとき生きていけば、本当の心の安らぎでこの世を去る前に良い時空に入っていきますけど、これが無い方たちの場合は大変なことになる。本当に大変な暗き世に生存することになる。というのは、過去もない、来世もない、と、そういう風に何にもなく、一時的に生きるということばかり教えられている西洋社会では、これからますます激しく体が破壊されます。それで薬で押さえつけますけど、それは一時的なものであって、ケミカル、化学的世界、飽和状態が発生しますから。どんどん潰れては、それはまた他の薬、他の薬、でごまかすけれどもすぐに薬が機能しなくなります。

だからまあ、それを使わない、心を進化させる方法ですね。まず大自然で生きれば良いのだけでも、それだけでもまだ無理。というのはもう世界にはありとあらゆる民が必死になって生きているけども、やっぱりその中で本当の宇宙の法則というのは、お釈迦様の教えですね。その中で生きていけば本当に大宇宙の心の進化ができます。

だから、私が「こう」(マドラー、手印) したのですね。そしたらやっぱりわかるのですね。ナーマ、ルーパ、アニッチャ、ドゥッカ、アナッタ。外に内に。極大、極小。一切の時空。般若心経を唱えていって。ここで般若心経を唱えないのは、あちら(南伝)では般若心経を唱えないのだけでも、これがわかるから。ナーマルーパ。名色。色、物質。無常。苦。無常、苦、それから無我。これが一切の時空に入っていくということを、こうしたらすぐわかる。小さい時からアビダンマ、法随観聞かされているから。それで私が結局、ダンマヌパッサナーの法随観で、最も辛いのは愛する人と別れて、この世から去っていくときの、そういう、あれですね。テレビで野際陽子さんが他界されて、行ったのかと。私この方から手紙もらっているのですね。家にも招待されて、娘さんも相当大きくなって。まあ、縁というのはそういうものだと。

これが結局ニルジャンティ、エヴァメタッサ、ケヴァラッサという、悲しみ。死と、別れていく、憂う、苦悩。死になって去っていくという、漢文でこう書

いて、パーリ語ではこう書いて、般若心経では、どんなにあなた方が命を、この宇宙一切を含む命を繰り返しても、このアニッチャ、ドゥッカ、アナッタ、ナーマ、ルーパの世界からは出られませんよ、と。ただお釈迦様のこの法則だけ。だから行深、サンカーラを言ったら、それでも「来てくれ来てくれ」と。マハーテーロ、私の友人の大長老を呼んで。そこで彼がサンカーラのことを説明し始める。その、どうしてそれが発生して、どうなるかということ。それであちらの人もびっくりしてしまっただけ。実際のことを説明し始める。まあそういうさわりで、今度はじゃあ、どうしますか？お経？

【司会者】

そうですね。皆さんで仏様に礼拝します。



孤児の象さん達が元気に育って、立派な家族集団となって保護公園の近くの川で楽しく水遊び、スリランカ。

大地が法の中・同じように 三拝～読経～そして瞑想

【水源師】

お釈迦様、なんか良い感じでしょう？私のために彫ってくれたのです。ぜひ持って行ってくれと。3つ。巨大な仏。いやこれは持っていけない。で、この小さいのにして。お象さんもね。あっちではお象さんというのは幸運が訪れるという。それでわざわざ彫って、持って行ってくれと。それで皆さんに幸運がありますように。やっぱりその、スリランカはお釈迦様が3回訪れたところで、シンハラ語はパーリ語とサンスクリット語の2つの言語でできているから、経典がスラスラ読めるのですよ。だから私が法随観でお話しすれば、もう目を開けて喜んでくれてですね。あっちではそれを聞くことが最高の楽しみなのです。テレビじゃないのです。スポーツじゃないのです。で、殺戮が無い大地だから、本当に心が安らかな大地。特に宝石の山で瞑想をしたらね、もうニミッタがすごかったです。太火のように出てきた。そういう不思議なところがあります。特にキングアショーカの王子様がね、菩提樹をもってきたマヒンダーアラハト。本当にこの畳一枚くらいの石の上で、ただ20年間そこで。王子様がですよ。だからその大地が法の中。本当の宇宙の法の中で存在しているようなところで。私から見て、1000年前の古い町なのですが、その当時の王様の石像が手に北伝の金剛般若心経を捧げ持って立って居られました。そこは前非常に不便だったけれど、今は非常に道路も良くなりました。ま、そういうことで、皆さん三拝して、お経読んで、瞑想しましょうか。この菩提樹はお釈迦様が成道された原木のある町のところから来たこどもです。

【参加者】

それはなんていう町ですか？町の名前。

【水源師】

アヌラーダプラ。ここが一番古い教団で、ボディ（菩提）という、すべてボディという名詞が付きます。だから私もここからボディという名前をもらって、ボディパンニャ（菩提 般若）になりました。ミャンマーではグニカ（究仁伽）。ここで(菩提樹の聖地)ボディパンニャになりました。すごい因縁ですね(笑)。お釈迦様が悟りを啓かれた菩提樹木の子供ですよ。

【司会者】

Eさんが持ってきてくださいました。

【水源師】

Eさんが育ててくれた2つの菩提樹はエクアドルで育てます。これも宇宙的なもので。まあささやかながら良いエナジーがこの地球上に発生するのじゃないかと思います。

【司会者】

それでは皆さんと一緒にお経を読みたいと思います。まずこちらの慈経から、これから始めます。

【水源師】

不思議なことにスリランカでは日本の般若心経と、日本のお経を唱えましたが、こっちは逆にパーリ語で、上座仏教のテーラワーダのお経でいきます。

【司会者】

じゃあ皆さん手を合わせて。（読経）

【水源師】

それでは妙法蓮華経観世音菩薩普門品偈。実は今回もスリランカで素晴らしい事に観音様とのつながりがわかり、ま、私たちがこう本で読んで話を聞いているのと、実際の目の当たりに見ることとは、もう本当にテレビの四角平面を見るのと直接ヒマラヤに行ってエベレストを目の当たりで見るとの違いがあります。仏教はそういうところです。で、まあ想像、人間の頭では想像できないです。だから人間が分かればそれは間違い（笑）。人間が「そうだそうだ」と言ったら必ず間違いで、破壊が起こります。本当のことを一つも教えられていないからです。人間はバカじゃないですよ。わざと全て間違えて教えるのがこの社会で、完全にコントロールします。そのために皆さんが病気を、病を発生します。非常に簡単なことだけど。じゃあ何が本当かと言ったら、まず一番嫌な瞑想から入るしかない。

で、それで全部頭の中の垢を取り去った後で、その後で本物が分かっていきます。だからもうアメリカはもう本当に今は大変なことになっています。哲学を詰め込んで体験が無くやっているからです。何をやっているか本人たちも分かっていない。今は世界を完全に破壊しようとか大変なことをしようと、一步一步、着々と、着々と消滅の方向へ向かっています。本当です。だからただ一つ、それに立ち向かうにはしっかりと法を持てば、そういうものにも影響されません。それでは観音様のお経を読経します。

【司会者】

初めての方もいるので、最初皆さんで座りたいと思うのですが、座り方とか全く分からない方もいらっしゃいます。

お釈迦様、達磨大師、印元禪師、水源禪師へ受け継がれている正法

【水源師】

これといった決まった法則は無いのです。でもやっぱり、28代目のボディダルマ様が中国に。インドのチェンナイからスリランカ、スリランカからジャカルタからサイゴンに上がって、クアンドン（広州）に上がって、クアンドンから少林寺に上がって、そこでやっぱり9年間じっと座って、そして法を伝えたわけですね。中国に上がってきたときは124歳。西暦524年、または26年と言われている。その後、パミール高原を150歳でインドに帰って行った。本当は毒殺されて埋められたはずなのだけど、武帝の高官がパミール高原で会ってそのことを報告して、すぐ墓を開けたらそこには死体がなくて、草履一本。またそのボディダルマ様は草履を竿に掲げて歩いて旅している。で250年間少林寺に飾っていました。それが突然無くなって。で、どこで瞑想していたかという、少林寺は下であってね、達磨大師様は高いところに居たのですよ。

私もそこに2時間か3時間かけて上がって行って、そこで比丘尼さんが一般の方々を出して、私を待っていて、全部ドアを開けて、そこで座らせてもらったのです。やっぱりすごいエネルギーでした。洞窟の中で座ったら全く違う時空です。それで初めて分かったのです。達磨大師様がおられました洞窟を数知れないという小説とかいろいろ書いているけど全然違いますね。やっぱり全て体験です。

で、まあこうして、こういうサンスクリット語からこういう観音経が来て、こういう風に、パーリ語でこうして来ていますけど、本当にこういうことに会うことでも幸せです。本当に幸せ。全てあなた方が知って教えられている宗教は殆ど間違っています。それを信じて巨大な教会を作って、バチカンからメッカからこうしたら本当だと思いませんか？だから本当のことはここ（心）にあります。たった、こういう、ここ（心）の中に本当のことが有るのです。これを体験できてこの世を去れば大変素晴らしいところに行きます。本当に明るき良いところへ行きます。でなければ暗黒の、またどんなところに吹っ飛ばかわかりません。

ま、いずれにしてもこうして一緒に座るということ自体もこれは宇宙の奇跡なのです。この地球上の奇跡。あなた方は知る機会がないだけ。本当に奇跡です。私はずーっとヨーロッパの方方と付き合ったり、南米やたくさんの方々の世界の

方と付き合っているけども、こういう宇宙の本当の真理の近くに行くだけでもこれは奇跡。ほとんどもう、沢山の方が魔の罠 (mara's bait 苦の一つ) に掛かって。そしてどこに行くか分かりません。ただ仏国日本がお寺をもってね、形だけでも。凄い事です。凄い事。でもスリランカにはすべての町にイスラムのお寺があって、イスラムの方はイスラム以外の人々と交際しません。スリランカをイスラム化にしようと夢見ておりました。

それはね、アーメンという、テーベ。3200年前、テーベの郷土がその神を祀って、姿形無く目に見えない、創造者ということだけ (カイロの博物館に立像あり)、それで教会でアーメンといいます。アーメンという神様がそこから出て、で南の、北のカイロの帝国を統一してアーメン・ラーになっています。だからそういうことを一切教えない。この神は今のイスラム教、ユダヤ教、同じ神でさいごにアーメンと唱えます。で、全て一切の学校ではこの知識を教えない。世界でも数名だけ。

ジョーダン・マックスウェルという人が過去 19 歳から今 70 何歳で、50 年以上研鑽したのです。で、この人はもちろん天界との繋がりがあります。だから生きていますけど普通は殺されています。すべての秘密を公表しているから、死ぬべき命なのです。でもちゃんと生きています。でもやっぱりこれを理解するには相当の瞑想の力がなければ逆に気が狂うと思う。

だからそこでお釈迦様の法随観、または禅のチッタヌパッサナー、またはヴェーダナーヌパッサナー、ゴエンカのサンカーラウペッカまで行けば分かります、又マハシのカーヤヌパッサナー。という風にちゃんと道があるわけです。それじゃなくても、この前もう、ブッダアヌサッティ、メッタアヌサッティ、マラヌサッティ、アスバヌサッティ、それから三十二分身。来年はスケルトン瞑想。10。それと四念処これが完全なるお釈迦様の教科です。

来年はたくさん、盛りだくさんありますけど、忙しいですよ。あっちこっちに行くかもしれないし、高い山に登るかも分からないし、実践です (笑)。まあそういうことで、座り方はね、本当は座禅では半跏または結跏でやりますけど、これはね、お坊さんは皆さんから食事頂くから、せめてこういう格好だけでもしないと失礼ということだけども、実際の深い瞑想に入るには、これで行くには相当難しいです。

本当にお寺の中で良い先生に出会ってね。そこで山の中で修業し、私の先生はもう、実は韓国の総理大臣の息子さんだったけれども、18歳の時にお坊さんに出会って、そのまま山で髪を剃って修行。山の中で生米を食べて。座っていたらもう料理する時間無いですからね、本当にそうなのです。だからそういう行をしているからやっぱり心が優れて、東京大学の博士号を取って、東国大学の学長になったのです。その前に私がお坊さんで、マンツーマンで教えてもらった

から、私は東京大学の試験を受けずに裏口入学で一番良いところだけを教えてもらった（笑）。まあ世の中そんなものです（笑）。

だからこういう風に結跏で座るときもあれば、結跏で良いところは短時間で急激にグーッと入っていきます。その前に非常に足が痛いけども、突然痛みが消えるわけです。で、「痛みは自分で作っている」ということが分かるというすごい利点がある。逆にね、この南伝のこの足の組み方ですね、こういう。そうそう無理しないこと。無理しないこと。こういう南伝の座り方はね、こういう風に座るでしょ。

これは定に入ったときに何時間でも座っていただけるという利点があります。1時間半座ったらね、綿の柔らかい座布団がね、石みたいに感じる。カチンカチンに。でもそこを通り越した後は自分の体も石になってしまうから、ずーっと感じないで、こう石の中で過ごす感じですよ。お地蔵様っているでしょう？お地蔵様。仏は全部石でしょ。本当にそう。全く嘘じゃない。それはジャーナに入って、そこでずーっと究極の世界を見ていきます。見えます。ま、そこまで行かなくてもマラヌサティで過去の自分、それから未来の自分を見ることはお勧めします。それにはニミッタもある程度あればいいんだけど、それは楽々とうとう座ってね、座っていけば30分、1時間座れますから。

そうじゃなければ胡坐でもいいのです。でも胡坐はね、そのうち崩れます。楽だけどね、崩れます。だからそれはまあ、自分で好きな組み方、じゃなければこれでもいいです。　　こういう。まあ、膝を折ってもいいけど、お茶の先生は8時間座りますよね。すごいものです。痛み感じない。あれも一つの座り方です。ま、だからその、自分で一番体に合った体勢で座ってもらって、まず30分から1時間を目指して。まあ15分から30分。30分から1時間。それはもう十分。1日30分ずーっとやっていたら、相当の間違った情報が心から取れ始めます。

これをやっていたら一切の病から離れてしまいます。でもこれが一番嫌なこと。薬を飲んで治るのが一番楽（笑）。で薬飲んですぐ悟り啓いて涅槃に行くのが一番良いのだけど、これは無いです。まあ、そういうことで、お腹はね、普通はまあ鼻から吸って鼻から出しますね。これをアナパナサティといいます。普通に自然体でしてください。皆さん、赤ちゃんも、動物も、皆さんも赤ちゃんの時はお腹でしていますけども、今皆さんほとんどここ（胸）で呼吸しているのです。お腹のところは第3チャクラでね、太陽チャクラとって、ここを壊せば病気になります。

だからアナパナサティに慣れたら、マインドフルブリージング、マインドフル瞑想とか今いっぱい出ているらしいのだけど、これをサティといいます。サティ、念、一念の念。それでこのサツダという信じる信、信念の信がサツダ。

サッダ、サティがサンカーラでの行列式で、三十四善心の中のふたつで、これが確り発生しなければ、最後のパンニャ(智慧)が発生しないのです。だからこれがしっかりしていなければ、やきもちを焼くとかね、妬みとか、それから怠けるとか、恨みを持つとか、心が十八、二十八のサンカーラで終わる(不善心)。

ぶつ切り、ぶつ切り、ぶつ切り。これが溜まっていけば必ず病気になります。というのは循環、ナーマルーパ、循環、28の物質と89のプログラミングが一体になったときにちゃんと心が正常化(善心)しますから。実に科学的なのです。

だけどそれは分からなくてもいいのです。まったく分からなくてもいい。ただ体が覚えていて、心が覚えています。だから、鼻から吸って鼻から出す、と。実際のこと。ここ(頭)じゃありません。実際のことだけを観る。だから、空気が入る、出る。それがちゃんと確定したら今度はお腹が出る、引っ込む。それがしっかりできたら今度はお腹をスーッと吸って風船みたいに膨らまします。で、肛門をギュッと絞る。で5秒間。1、2、3、4、5。で後はスーッと息を離します。5回。これで体の生命体が活性化されます。その、クンダリーニ(軍荼利明王、密教のとても大切な菩薩様; Kundalini と Muladhara) セックスの為だけじゃありません。現代の性の教えはとても間違っております。体も非常に活性化されて弱い病気を強くします。また瞑想も良くなります。だからこの加減を間違えればおかしいことになるけど、こういう風にバランスをとっていけば、楽々と今度は瞑想ができて、逆に、瞑想しなければ今度は気持ちが悪くなって病気みたいになります。そうなればもう占めたものです。それから今度は、しっかり押さえたら今度はいろんな瞑想のサブジェクトがありますから、その機運によって進む方向が決まっていきます。皆が一緒じゃないのです。それぞれが違いますし、いつ、何をやるかもまた違います。

それで私がちょうど車のインストラクターみたいなもので、横に座って、「あ、今右、今左」と。で覚えたら後は自分でやってもらって。そういうことで。それでいいでしょうか？大体いいですか？だから座り方は楽々で、最初は無理しないこと。無理したらすぐ辞めて元も子もなくなりますから。胡坐でもいいのですよ。なんでもいいのです。こういう形でもいいし。よく南方ではこういう座り方をしますし、または南伝の人はこういう胡坐もよくかいてやっています。だから遠慮しないで、形に溺れずに、まず、それから私はもうこれが慣れていきますから南伝です。ほとんどこれでします。たまにはこういう風に半跏でしてみたりします。なんか気持ちが良くなれば結跏でしてみたり(笑)。ほとんどこれです(南伝)。それでいいですか？

【司会者】

呼吸方法とか大丈夫ですか？

【参加者】

鼻から吸って？

【水源師】

鼻から吸って鼻から出すというのが、あの、空気が入ったり出たり。それを見る。実際に入っている、出ている。

【参加者】

鼻から出ているイメージをして、お腹に？

【水源師】

あ、それは別です。イメージをしないで。ただ、鼻から吸って鼻から出す。そこだけ。それだけただ一つ。それが完成したら今度は自然とお腹が膨らむ、縮む、と。自動的に鼻から空気が入って、出ますから。わかります？

【参加者】

はい。

4つの心処「慈・悲・喜・捨」を体得して愛の心を大きくして下さい

【水源師】

うん。だから一つ一つ確定したら今度、次、鼻から吸って出しますけど、同時にお腹が膨らむ、へこむ、と。で、へこむときに空気が出ていく、お腹が膨らむときに鼻から空気が入っていく、と。で、体を見るが必要なわけです。ここ（頭）ではないのです。ただ座って何も考えない、（頭）では何も心が進化しません。おかしいことが発生します。この体が非常に大切です。体を使って瞑想をするという。それ以外何も無いのです。

で、それも簡単なことなのです、簡単なことからいって、そのノイズを、プログラムのノイズを取ってしまわないといけない。で、それには一番単純な方法でやってください。もしそういうことができなかつたら、野原をゆっくり歩くとか、大自然の偉大な叡智を受けながらゆっくり歩くとか。またそれから進めば山に登って降りる、と。苦しいです。でも非常に精神的には禅定に入りやすいです。だから実際のことなのです。実際のこと。頭だけでこうやっても、

それは良いです。教学で勉強して、それは良いですよ。

でもお釈迦様の願うところは実際に心を、愛の心を大きくしてください、と。で、愛とは何か、ということを経験してもらうために、これがまず大切です。じゃなければ、愛、愛、愛、って言ったって何にもわからない。おかしくなってしまう。それから慈悲、慈悲、と言って、今度はもっと分からなくなる。それでムディター。ムディターの Joy。ベートーベン。その世界に入るには、やっぱり愛。それからカルーナの慈悲。それから歓喜の世界。ムディター。それから最後の静寂のウペッカ。私の年齢になればね、ウペッカが大好きなのですよ。音も無く、何もないところで、サラサラサラサラと植物同士がお話しするので。静かに。それは小鳥が歌を歌ってくれるのは楽しいけども。

まあそうなって、心の仕組みはこの 4 つの時空でできています。だからこれに反すれば非常に心が痛い。悲しみがある、と。そういうことが発生します。で、この 4 つの時空に、この 5 つの眼耳鼻舌身。眼、匂い、味、聞く、感覚。このインフォメーションが心の心処で一体化します。この心処が 4 つのこの宇宙の、凄い、こういうエネルギー体が本体なのです。これで全て出来ているから、ここから外れた時に全て苦が発生していきます。実際はということなのです。だからその、メッタ、カルーナ、ムディター、ウペッカ、と歌はいっぱいありますよ。そのヒンドゥーでもなんでも、歌ばかり。でも実際にこれを体験してもらうことが、なるほど、と。心が進化できる。ここでは全部死ぬときに忘れてしまいます。

この世ではっきり体験したことは、次の世に持っていきます。例えば今、14 歳の藤井四段ですか。彼は前の人生での体験、あの、天才じゃないのです。ちゃんと体験を持っているからできることであって。で、張本卓球選手、13 歳。彼もまた同じ。その、一代で出来るのは、あれは全部嘘です。自然の法則に反し原子爆弾が破裂しません。でもそれぞれに素晴らしい才能があるから、それを見つけてあげるということが大切です。

だからここであなた方が最も宇宙の最高の法に触れるという体験を少しでもすれば次の世界に持っていけるわけです。また良い世界に行けます。なぜスリランカとかミャンマーではお坊さんに、もう最高のものをお供えするかといえ、お釈迦様の時代に大目連という神通を持っている人がいるわけです。で、その人は天界の人と話すわけです。「あなたは どうして こういう風に金の船の屋根で、広大な宮殿に住んで、もう数知れぬキレイな召使いの中で生きているのですか？」と。「はい、私はその昔、お坊（比丘）さんが来た時に食事をあげました。そのおかげで今こうして住んでいます」と。そういうお経がちゃんとあるのです。日本では紹介されていない。お坊さんにたった水をあげただけでもそういう、比丘にあげるということは、私じゃないのです。比丘というタイト

ルを持った人に、そうやっている人にあげたときにはすごい高德ができる、ということです。こういうお経があります。このお経はね、何ていったかな？クッダカ・ニカーヤ（小部経典）の中に書いてあります。クッダカ・ニカーヤ（小部経典）。だからあっちでは、必死になってお坊さん（比丘）にお供えするわけです。自分が食べなくても。という実際の条例がいっぱい書かれているわけです、一つ二つじゃない。で、そういうところでまた良い因縁を持てるということで。実はこの仏法って凄い事なのです。ただ皆さんに教えられていないだけ。どれだけすごいかというお話。聞いたことないでしょう？ある天界の人がね、天空で、深紅の赤いお城に住んで、金粉がファーッ降ってね、そこに音楽を奏でて、まあ極楽ですね。それで小鳥がさえずって、花は咲き乱れ、「どうしてあなたはこういうところに住んでいましたか？」。そしたら「私はその昔人間のお坊さん（比丘）さんに食事を与えました」と。ここにちゃんとあります（経典）。まあ、お坊さん（比丘）さんもこう、みんな裸足で歩きます。それでほとんど何も持たないようにして。

だから今回、パンニャラマバンテイが、6年前から付き合っていますけども、本当に裸足。で、お供え物をもらうけども、自分も学校の先生で、パーリ語を一生懸命教えて、そのお金でまた他のお坊さんを養っている。本当に質素です。私が前に寝たときはコンクリートの上でパッと寝ていた。それがもう、あっちはそうなのです。綺麗な御殿には住みません。お坊さんは。でも心はもう爽やか。爽やか。とらわれない、まったく。悪いことは絶対避けます。悪いことは一切避けます。心は本当に子どものように純粹で、人のためにばかり考える。で、騙されても「あーそうだった」、それでおしまい。

良いでしょうか？大体その心持ちは今言った心持ちで、あとは鼻から吸って鼻から出す。5分。まあ10分。ただそれだけでいいです。はい。で、最後には仏教ヨガを教えます。もし瞑想できないときはこのヨガをしてください。お釈迦様のヨガ。それで3回くらいすれば、簡単です。5分か10分ですぐ、心がスーッとしてしまうから。だから座れない人はそれで十分。あとは楽しく毎日（笑）。それじゃ良いですか？



お釈迦さまが2600年前に悟りを開いた菩提樹の原木 スリランカ

68年前のサンカーラがふっと湧き上がってくる、これを消さなければ...

【水源師】

帰ってくるのですよ。

【参加者】

その、悪いことした人がですか？

【水源師】

いやいや、悪いことした人じゃなく、盗られた物が、またね。

【参加者】

あー

【水源師】

金銭とかそれがクルーッと後で、知らないうちに。あらーと思って。どこからか出てくる。そういう感じ。だからそういうことがどんどんあるものだから、若いころはAさんが言うように確かにそうやって。

【参加者】

自分だったらカッとしちゃいますけどね、大切なものとか取られちゃったら(笑)

【水源師】

ところが後でこう見たらクルーッとになって帰ってくるんですね。で私の先生がね「お金は天下の回りもの、必ず帰ってきますよ」と。なにを先生は言って居られるのかな？ 私は大金無くしてムカーッと、おかしいなー、と(笑)。まあそれで、はいはい、って。するとその通り。それが1回、2回、必ず帰ってくる。だから帰ってきた後は二度とそういうことが発生しないように心がけますけど。相手にも悪いし、自分も無駄な時間で苦しまないように。そういうことで。私は馬鹿だから2、3回やられて、「あ、これがこうなる」。その後がよく分かりやすくなります。で、またお金もしっかり帰ってきます。

だからその、怒りを持つことを避けるほうが、結果的に一番良い方向ですね。怒りを持ってばやっぱりその怒りのサンカーラが発生して後々残ります。私が小さいときに、罪のないおばあちゃんの悪口言ったと。それを取るのに20年かかったと。で、もうそういうことは発生しないと思ったら、ついこの前、口から

悪い言葉が一つ出てくる。いやーサンカーラの恐ろしさ。それでお釈迦様が徹底的にこれを潰したわけですね。二度と生まれないように。涅槃に往けるように。ここなのです。だから油断したらフッと出てくる。言葉が。もちろん謝りますよ。これは私の本音じゃない、ただ冗談。だから冗談というのは気を付けなければいけない。冗談で言ってるでしょう？これが漫才とか、みんな笑うじゃないですか。だからお釈迦様は、笑わせる王者に「あなたは地獄に行きます」と。というのは、だから長生きするといいですね、この心の作用というこの凄さが体感出来ます。今から何年前か、もう 68 年前のことですよ。68 年前のことを、不善心のサンカーラがフッと上がってくるのです。フワッとフワッと、誤ったこと「ああここだ」ということを徹底的に見たけど。このことなのだ。これを潰さなければまた輪廻が発生して生まれます。生まれ、死に、生まれ、死に。で、こういうことが分からないから、いずれの日にか、暗きところに行きます。そのうちというの法に出会えなくなるから、だから生きているときにね、いかにして少しでも法を掴むか、と。

で、やっぱり本当にお経の通りです。お経は間違いない。間違いないですね。だから私が麴の部屋でね、麴と一緒に 2 日間寝たのですが、話しかけてきますよ。喜びと。目に見えない生命体が。まったくこの慈経と一緒に。もちろん植物も話しかけるし、全部生きているわけです。まあそこで麴ができて、食べてみたら、まあ甘いこと。美味しいです。麴が、もう「食べてください」って、言うわけですね。まあまあそういうことで、じゃあ。

【司会者】

それでは 50 分座りたいと思います。

【水源師】

もし苦しいときは静かに立って、また姿勢を変えてもいいです。無理しないように。徐々に慣れていってください。じゃあお願いします。

【司会者】

それでは始めます。

【水源師】

楽しいというか、スーッとうまくいく。

【参加者】

その通りです、ありがとうございます(笑)

【水源師】

どうでしたか、座り心地は。

【参加者】

はい、いろいろ自分で試してみまして。

【水源師】

はいはい、あの、無理せずにね。こう、長時間しなくても、10分、15分。で、またやり直して。

【参加者】

毎日こういう時間を持つのが必要だなーって。



飛行機より撮影

宇宙の最高のご褒美の「この体」を使って「瞑想」、これしか無い

【水源師】

大切です。というのは、これからはますます機械化社会。コンピュータで全てコントロールして家畜化社会にまっしぐらにこれから進みますから。そこでただ一つ、家畜にならずに済むのは、自分、自分を取り戻す、自分の世界、これが本当だという感じ。でなければ必ずや、病気になるか、やられます。だから何のために働いて、何のために生きているかということも全く忘れてしまいます。という恐ろしい時代が発生します。

というのは機械と人間は別なのです。この体は、私たちは宇宙の最高のご褒美を貰っています。現代科学じゃ、まあ幼稚で仕方のない、それで非常に粗い思考でもってね。まあコンピュータ社会で動かしていますけども。この前もなんか、世界的にコンピュータシステムがハッカーされて、イギリスの病院が全部作動しない。病院で普通のようにしていたら、昔のように紙でね、やればいいんだけど、全てコンピューターコンピューター。その指令が無いと動かない。動いたら罰せられる。だから結局もうコンピューターが人間をコントロールしています。で挙句の果て、全ての仕事を機械化していくでしょう？何もかも。じゃあつまり人間の働く場所を取ってしまう。これは大変な、大きな間違いです。完全なる間違いです。私もこの体を動かして、仕事をして。この前も麴を作らせてもらって。そこにはいっぱい秘密があります。機械では理解できない世界です。

私の友人もね、14人のお医者さんが居る病院の院長で。それで「お前、どうしてお医者さんには教えるの？」って言ったら「教えられない」って。「そうだろう」って。「この部屋ほど本があったって、お前教えられないだろ？」って。「うん、そうなんだよ」って。これが現実なのです。でっかい病院ですよ。だからそんなもんで。その、お医者さんを馬鹿にしている、のじゃないのです。お医者さんがいなければ私たちもうお手上げだから(笑)。そういう風にね、お医者さんが今度は自分で仕事ができないようにしてしまう。これしちやダメ、あれしちやダメ、ってもう教本のマニュアル道理に従わなければ罰せられます。だからお互いに、私たちは機械の統制によってお互いに首絞められるようなことであって。それで、じゃあ山に行って一人で暮らす、と。そういう人は滅多にいない、相当な力が無ければできないのですよ。集団になれば集団で抑えられて。

ただ一つこの中で、人間として素直に生きていけるのはやっぱり今の5分か10分の瞑想でね。一番嫌なことだけでも、これしか無いですね。私の見たところ。あとこれが無ければ、野原を散歩するか、それから登山するとか、じゃなければ心から人に奉仕をしていくとか。サービス。ということで心が豊かにな

っていきますけども。ただ、でもそういう時間は無いと思うのですよ。朝から晩までぎゅうぎゅう詰めに働かされて、もうぐったりして、これから奉仕、ということはほとんど不可能。ただ一つ、5分か10分は寝る前か起きた時に布団の上でスッと座ることはできるはず。5分か10分。じゃなければ1分でも2分でも。

社会に貢献しているスリランカ・韓国・中国・チベットの比丘達

今回もうスリランカでね。朝 4 時半に目が覚めるわけでしょ。そしたらスツとベッドの上で座って。2 時間くらいスツと。いや一気持ちが良くて。そして今度は水シャワー浴びてね、さっぱりした後に、食事が出てきて。食べて朝 7 時。まー素晴らしい生活(笑)。やっぱりその、普通は 2 時間もゆったりとできないでしょ？ だからお寺だから夜 9 時半になれば、もう寝ようかと言ってぐっすり寝て、悠然と 4 時に起きられる。で、そういう場所はもう 2500 年、お釈迦様の時代からもう大地がね、殺戮を嫌う宝石の島なのです、スリランカは本当に宝石の島、サファイアもいっぱいあって。で、今回も宝石商からどっさりサファイアをもらってきました。日本では想像できない。私、お釈迦様彫ってね、その宝石で飾るからと話しました。はい、ドッサリとサファイア「使ってください」と(笑)。本当に(笑)。サファイアですよ、サファイア。だからもう、法(ダンマ)の国の下で生きて、それで幸せなのですね。というのも来世のことをわかっているから。来世があると。

で、私が来世のことを説明して、過去世もこうこうですと言ったら、もう本当に、心から喜んで聞くのですね。あーそうだろう、そうでしょう、という風に。その私の体験談。もう、だから今回も、大僧正になったマハーテーロといったら、スリランカでもなかなかないのですね。大体、比丘を 5、6 年やればみんな辞めると言ってます。10 年、12 年となればますます少なく、10 年以上はまた急激に少なくなり、20 年選手なんかまた少ない。30 年なれば、40 年以上越せばね、ほとんどもう 50 歳あたりから死に始めるから。それから死ぬ前に大きなお寺を貰ったのだけでも、それを必死になって立て直そうとして、募金集めて大きなお堂作ってね。おおすごいなって。それで「私をちゃんとサポートしてくれ」と。はいはい、はいします、っていうことで。

ちょうどね、私の先生から「お前はテーラワダ上座仏教に非常にお世話になっているから、なんとか南伝の国の方を助けなさい」と。そういう、もう先生から言われるということは親以上のことですからね。法の道を教えてもらうという、いや両親も大切ですよ？それ以上のことだから。このことによって私の両親が死んだ後でも、私のダンマによって良いところにまた行きました。だ

から法を得るということは大変なことなのです。

もうそれで亡くなった両親のことで悩んで、悩んで、いかにどうしようかと思っ
て居ましたが無事によき世界にたどり着けました。ところで韓国でいつもお世話
になる奉印寺のお寺に行ったら和尚さんはまあまあ優しく、優しく。それがもう
韓国一の大金持ちのお坊さんで。なぜか。というのは、でも本人はもうボロぎれ
の衣。朝から働いて。で、他のお坊さんがビクビクしている。でも、私にはめ
ちゃくちゃに優しい。それで裏山を 100 億円のお金を出して買って、何を
するかって言ったら瞑想道場を作り始めて。良いことばかりしている。本当の
お坊（比丘）さんは良いことばかりだけ。自分は本当に、自分のことを忘れて。
「お坊（比丘）さん、年いくつ？」と。「もう 60 になりました」と。「60 から
これから今の大学に行って、普通の人と一緒に大学に行って、修士今からやっ
ています」と。いやー。私 57 で退職したとき、これからバンザイ、もう世界を
飛び回って、飛び回って(笑)いる私と比べて。本当に超真面目。で、やっぱり
その修行を一生懸命しているから、やっぱりそういう大きなお寺を切り回して、
ヨガの先生方をお招きし、世界のえらい先生を沢山お招きして、そこでどん
どん講義をやるものだから韓国でも超有名ですよ、大きなお寺です。私の生徒
を連れてこれから瞑想会したいのですけど、お話ししましたら「あーいつでも
使ってください」ということで二つ返事。で、まあそういう風な非常に立派な、
先生からもこう言われて、どうしようか思っ

て。まあ中国はもう全土回りながらありとあらゆる良いところばかりのお参りで、
最後ただ一つ、五台山。ウータイシャンっていいです。ここは文殊菩薩が居るお
寺で、山なのです。カイルス山もすごいけどここもまた神秘的で。それでここは
前々から行きたい、行きたいと思いつつ、中国の北京の大学の先生にお願いし
て。でもちょっと難しい。「大丈夫、私、観光団と一緒に行くから」と言っ
て。そういうことをお願いしたら「日にちが合わないから行けないから、来年に
しなさい」と。あーそうか、そうしようかなと。そう思っていたら運よく切符が
取れて、個人的に行けるようになったわけで、もう行って帰ってきて、それで
すぐマレーシアに行くくらいのもので、ほとんど遊ぶ時間も無いのだけど。ま
あ、そこに行ったらまあ、中国全土からお坊さんが集まってくるのですよ。チ
ベットの坊（Bla-ma、ラマ）さん、それからありとあらゆる宗派の衣の色を着
て。それでも一般の人でも観光バスで来て、その山の中なんにも無いところ。
2600 メーターとても寒くて。北京では暑くて汗かきますが、そこは雪がパラ
パラパラって降っていました。それで、煩惱というのは 108 ではなく、1080
なのです。もっとあるのだけでも。細かくはその 10 倍。で、その文殊菩薩の
山の上に登るのに 1080 の階段。それでその途中には私の大好きなグルリンポ
チェ様のチベットのお寺が有って、そこを回ってそこで深く頭を下げ

て、まあそこでも「まーよく来たね」と言われて。実は仏教内では全然壁が無い、宗派無いのですよ。私の体験では宗派無し、日本はどうかわからないけど。何も聞かない、ただただ親切にしてくれる。仏教を全くの無智な人たちはどの宗派ですかとよく聞かれますが、本人は何も知らないで少し聞きかじって聞くのですね、とても恐ろしい事です。本当の御坊様はとても辛いと思います。

チベットを全部旅行してもとても親切にして頂きました。どこに行っても「よく来たよく来た」で。もう、バターティーっていうのですか？で、砂糖入れてくるのですよ。砂糖というのはチベットだと超高価なもの。山の奥で。なんにもないところだから。まあそういう風な、なぜか気が合うのですね、ピタピタッと。それでやっとなんか「よく来たね」という、あれでね。ご褒美貰うような感じ。実は文殊菩薩様に会っているのですね。瞑想で実際会っています。いやー、これほど頭の低い、これほど柔らかい方はいろかな、というくらい柔らかい方。本当ですよ。あれだけの超、超、全ての知識を持っている人がもう低い、低いしぐさ。そんなもんで。行ったらまあ、ご褒美貰ったのか、これで煩惱がね、なんかスーッと取れた感じで。なんか、前はちょっと怒りというか、そういうものが強かったけども、それまでもフワーと消えて、なんか、人間界から離れたような感じになって降りてきたのですね(笑)。

で、もう一つは大きい、昔皇帝が作ったお寺でね。まあ今でもチベット半分、中国半分で、喧嘩してないですよ。ここはチベットのお寺、という風に。いっぱいあるわけです、そのあたり。そのお寺そのものは皇帝が作ったけど、ここはチベットの方のエリア、と。それからそこを通過してまた中国の方のエリアとなっている。それぞれ持って分担で喧嘩していない。それでその一番上に行くと、お釈迦様に頭下げて、文殊様に頭下げて、景色が良いからスーッと座っていたらね。そしたら「あの、ここはですね、文殊様の現れたところだから、あの、ここで座るのはちょっと、やめてください」と言われて。「そりゃそうでしょ、いやーすみません」、いや、もっと良いところに連れていってくれる、と(笑)。中に行くと真っ暗、真っ暗。写真があって、「これは1950年代に現れた、空中に現れた文殊様です」って。いやー、頭下げて。「じゃあ写真撮ってもいいですか？」、「ああどうぞどうぞ」って。パチッと撮って。そしたら他の中国の方がね、撮ろうとしたら「いやダメ」と。「なんで外国の人が撮って、私たち中国人がダメなのですか」「いやいや、この方お坊さんです」と。お坊さんだから撮る、外国から来たのです、と。親切なのですよ。本当にもう嫌なこと一つも言わない。そしてパチッと撮ってきました。で、この写真は1950年代、中国には色を着けるといふ風なフィルムは無かったわけです。で、現れたら色が着いていた。もっと不思議なことに、私が撮ったその写真、青空が写っている、青空。

真っ黒の中ですよ。で、太陽みたいな光も出ている。いや本当に。現実は無いのですよ、真っ暗だから。でも写ったら青空、雲、太陽が写っている。私の撮った写真。まあそういう不思議なことがあってね。

スリランカでの水源禅師の農民・学校に向けての指南

これから南伝の国に行って、いったい先生に言いつけられた事、どうしたものと。そして、パンニャラマバンテイのところに行ったら、いやーサポートしてくれと。いや、お寺を大きくしたい、と。おう、よしよし。ちゃんと整備して、もっと人来てもらおうようにしたい、と。ここのお寺はね、過去、マハラジャという、大王の住んだ大地みたいで。このお寺、スーッとバイブレーションが全然違いました、だからその、ずっと何千年も守ってきたわけですね。で、このお寺には不思議なお釈迦様がおられてね、目が、開けたり閉めたりする。光の加減。本当に閉める。でまたパチッと。まあ普通は見せないけど、わざわざこう私に見せてくれました。

それでまあそこで、朝瞑想終わって、その後、村の見学に行くわけです、農場の人。そしたら農場の人が私の歳なのに、もう痩せ細って、もう真っ黒けで。もう、鍬持って働いているわけです。これだけ貧乏だったらお寺にお布施するなんて無理でしょ、と。そういうことで、じゃあプロジェクト組んで、この農村の方を助けるようにして、若い者は働いて、年取った方は瞑想ができるような社会にもって行ったらどうですか、ということで、私がいろんなアイデアを出しました。で、あとは皆さん、村の人が議論して意見出してください、と。私がそれに参加してなんとかしますからと言いました。まあ 2000 名も居るから。いっぺんに集まったら大変で、200 人集まっても話ができないから、26 の道路があるからね、2 人ずつ代表選んで、討議させて、それで私がいて。結果的に竜樹が、弥勒菩薩（軍荼利明王様と密接な繋がり有）様が竜の木の下で悟りを啓いて仏になる、と。弥勒仏になる、と。で、その竜の木を植えたい、と。いや、これはなかなかいいんじゃない。なぜかと言ったら竜の木から竜の果物ができて、これがとても高く売れる、と。それいいですね、と。

もう一つは、ここには耕運機がクボタとかいっぱいあって、修理ができなくてゴロゴロしているらしい。だからメカニックを一人雇って、このお寺の中に整備工場を作りなさいといったら、すぐにメカニックが現れて、5、6 人若者が来て、その活動が始まって。またそこに大金持ちがトヨタの耕運機をボンと寄付して、解体してやってくれ、と。それでドンドン進んで。

今度大きな町の高校に行ったら 2600 人の学生がいてね、で若い人がお腹すいて食えないとか、靴が無いとか。じゃあ食べさせるように食堂作って、働かせ

て、また靴の無い人は放課後、靴を作って、タダで皆さんあげたらどうですかって。そしたら先生方がもう喜んでしまっ。まあその前に法随観の内容を説明したわけです。それで教頭さんが目を瞑っていたけども、目をバッチリ開いて、「いやーそれはマハトマガンジーさんと同じことを、あなたが言ってます」と。「これはもう全スリランカの高校に広めたい」と。「プロジェクトしたい」と。「それがいいでしょう、してください」ということで。そういう風になって、一乗禅の会の青年部ができて、農村のユニオンができて、今度アンドラプーラの菩提樹のところに行ったら病院を作りたい、という話が出て、そこで不思議な話があって、で、そこでもちゃんと会を作りたいと。で、その 5000 人の幼稚園の先生がいる組合もここに参加したい、と。コロンボに事務所もちゃんとあるし、ショップもあるからなんとかしたい、と。ということで、トントン拍子で本当に、文殊菩薩のおかげかどうか。トントントントンと上手く行って、まあこれで、胸をなでおろしました。

で、日本の一乗禅の会の皆さんの集めた募金が貯まっていたもので、そこから 50 万円お布施。だから皆さんの高德がそこに行きます。カナダのほうは 30 万。Hさんがプラス、ボーナス 10 万(笑)。80 万。もうそれで半分半分で、今年やって、もう一回来年やって。それでなんとかうまくいくと思います。ということで皆さんこうして来て、瞑想されて、お布施してくれますから、その 1 円でも高德が渡るように、せっせせっせと、もう 9 年、来年で 10 年になるのかな。だから小さい力でも、砂の粒が積もり積もって、こういうすごいことが発生する。だから皆さんがそういう風にお布施したことによって、高德が天界に伝わって、大変良いところに行きますよ。これ私のことじゃなく、お釈迦様からの時代でちゃんとこういう経典があるのです。だから私自身としても非常に幸せなのです。皆さんが一生懸命修行して、こうして心を集めて、それをやったから、それほど私として幸せです。皆さんが良いところに行くし、で修行もできる、で、これこそ最高の私のご褒美で、私自身も楽しくなってしまう。まあそういうことで、来年はスリランカの視察団とか、日本でもまた瞑想会、ちょっと忙しくなりますけども。

日本の食文化の素晴らしさ

【水源師】

今回も新潟で麴瞑想ですね。麴の室でさせてもらって。いやー、麴の作り方。何故かと言ったら、南米では味噌がないのですよ。でもその、私がいるところはたくさんアメリカ人がいるから日本食が大好きで、日本の味を知っているわけです。美味しい味噌を食べたい、と。そうかそうかじゃあ、ということで。

ところが味噌を作るには麴が必要なのですよ、麴。で、カナダには味噌を売っています。日本の企業がアメリカにあって、どんどんハナマル子ちゃん、信州、赤みそとか、簡単に食べられるけど、南米では無いのです。

南米ではその、セントフランシス、イグナチオか、忘れたけど、500年前に欧州から来て、で、エクアドルのキトが、そこから全部指令出したのですね。でもいまだに、高い山のほうに行ったらね、ご飯を炊いて、塩をかけて、「これ美味しいだろう」と。塩ですよ。昔、戦前、戦後、私たち食糧難の時に塩かけて食べていたのです。ご飯に。まあ、それでも美味しい、と。それがそうなのです。だからその、文化の、なんて言うのかね。その、チーズとかそういうものは食べられないし、高い山で。だからその、日本で豆腐、味噌、醤油。これで色んな美味しいもの食べられるけど、他の国は滅多に無いわけです。その仏国ではタイとかあります。ベトナム、カンボジア。ラオでも、それからミャンマーでも。500年ですよ。あの、コロンブスが行った後、いまだにそうですよ。

本当の聖書の訳はとても困難、佛教の方がまだ正確

で、神をただ信じることばかりで、恐れるわけですね、神を。で、その根源をたどったら、やっぱり 3200 年前、テーベというところから起こった、その国が南エジプト。その後、北エジプトのカイロ、統一した地方の神の名前がアーメン、と。だから必ず聖書の後には「アーメン」と言う。で、アーメンってどういう意味ですかって言ったら、「皆さんが良くなる」って。実は神の名前。アーメンっていう。で、その奥さんはアーメント。だから男神、女神あるけど、男神だけで女神を隠して。姿形もあります。

だからメッカに行けばツインタワーなのです。ツインタワー。で、そのブラックストーンみたいにスクウェアあるでしょ。ブラックスクウェア。メッカ。あの下にはお釈迦様の左足。バチカンのセントピーターの下にはお釈迦様の左足。スリランカのスリーパーダは右足。それからアナコンダ、ナーガルジュナのアナコンダには、そこにも右足。だから 4 つ。右左。歯もまた、スリランカには二つの歯、右だったと思う。で、中国の北京の靈光山に、左の上。で、台湾が下か。4 つ。必ず four。4 つ。

だから瞑想も、ダンマヌパッサナー。チッタヌパッサナー。ヴェーダナーヌパッサナー。カーヤヌパッサナー。4 つ。全て 4 つ、4 つ、4 つ。だからピラミッドも 4 つなのです。その昔イタリアにトスカニーという国があったわけですね。トスカニーはローマ人が大嫌い。ローマ人が海から上がってきて、自分の国を取られたから。ちょうどそれが 3200 年前、テーベで、突然、その時の記録によれば突然、どことなく突然人が集まってきて制圧した、という文献があ

るわけですね。ちょうど今の IS、IS みたいに突然突飛にと全世界を動かす、みたいな。そういうサイクルがあるわけです。で、そのエジプトのその、ギザのピラミッドの中には、すべての経典、その、書かれている本があったという、ギャラリーというところがあってね。そこは最も硬い石で、大体 40 (13 メーター) フィート。109 メーターくらい上がって入っていく狭い通路でこの巨大なギャラリーがあるわけですね。その構築は現代でも作れない。

で、エリック・バン・ダイクという方が、私が高校の時に全世界で有名になった方で、その、Chariot Of God の本を世に出して、神は宇宙から来た、と。そういう学説で、まあ異端視されて、みんなに馬鹿にされて。でもやっぱりずーっと、今でも続いて今度 1 年か 2 年前にまたエジプトの不思議なことを説明しておられました。

で、聖書の中では一番不思議なことが、エノク (エノク編、1700 年代にエチオピアで発見されて、1800 年代に初めて出版) という人を、神が連れて、教育して、置いてきた (今の南極大陸; 近年において氷の下に巨大なエジプト文明より遥かに進化した遺跡群の発見)、聖書はアダムというのは結局、その当時、たくさん人間が居たみたいです。ロサンジェルス of ラバイ (ユダヤ教の司教) の話によれば、ユダヤ教の最高の勉強した方の話によれば「カトリックの聖書の訳は間違っている」と。聖書は全部その、ユダヤ教が本典だと言われている。それは、そこに人間がいて、神が来た、と。で、その中で「私たちのようになりなさい」とアダム言ったのが本当の訳です。

そういう風に書かれているのを、神が、人間を神のイメージで作った、という風に書き換えたわけです。何故かと言ったら聖書もね、ずーっとこの 2000 年の間に、エボノナイト、マルシナイト、ノスグット、プロトオーソドックス、オーソドックス、カソリリズム、プロテスタント、と、どんどん変えているわけです。だから何が本当かわからないわけです。

ところが仏教の場合は今でもね、ミャンマー、スリランカに、お釈迦様のお話しされた事を、アーナンダ様の証言をね、ちゃんと暗唱できる人がいる。だからそれでもって書き換えられないよう確定しているわけです。だけどその、パオで私が修行しているとき、227 の戒律があって、一言でも間違いあったら大声で沢山の比丘達が「間違っている」と指摘します。それくらいすごいですよ。だからみんな確り聞いているわけです。暗唱が間違いないかどうか。だからこっちのほうがまだ正確に行くわけです。

ところが文字で書いて、いったん書いてしまったらね、人間は法の上に立たず、法は人の上に立つ、がアメリカなわけです。だから、それを解釈する人間が法だから、なんとでもなるわけです。どうにでもなる。だからもう、今気が付いたけども、民主主義ということはありません。権力を握ったものがいかに

して、良い方向に使えばいいけど、悪い方向に使えば大変なことになるわけです。でもその国で、本当に法を体得した人が一人でも出れば、その国は悪い作用が働かない。

だからこの前、北朝鮮が日本を核で攻めて爆発する、と、みんな怖がっていたけど、いや、あり得ない。もうあなた方は法をここで握ったからそういうことは発生しません。また、大地震。それも今は止まります。あなた方が法をつかんだから。法というのは大変なことなのです。だからその昔、千年前にモンゴルが攻めてきたときに、日蓮上人様がやっぱり、体得したのでしょうか。何か法をつかんだのかも。それでやっぱり入って来られなかったと、私は思います。だから仏法というのは凄い事なのです。ま、そういうことで、あとは質問があれば、何か。

ブツダヨガ

【水源師】

じゃあ質問の前に、仏教ヨガ。手本示しますから二回くらい。覚えておいて、簡単です。それで、時々やってみてください。気分のすぐれないとか、瞑想が嫌な人は、実に簡単ですね。蓮の花ですね。頭に載せます。第三の目のところに。そしてハートチャクラ。そして膝を折って、広げます。そしてその間にお尻を置きます。そして左でも右でもいいです、こういう風に座ります。女性の、何とか折り。

【司会者】

お姉さん座り？

【水源師】

で、反対にお姉さん座りします。でも体はね、バランス取れないです。偏ってなりますけど、我慢して。でこれが終わったら今度、これ難しいんですけど、かかとを立てて。でこういう風にしてお経唱えるんです。ミャンマーとか。というのはこう、座ったりして唱えるのは失礼ということで。で、その後、今度は頭をつけます。で、あとはチベットの全身倒礼になります。はい、これでおしまい。で、これやればね、気持ちは何故かスーッとします。というのは全て蓮の花でいきます。蓮の花を第三の目、そして蓮の花をここに。ま、いいですか？

【司会者】

ちょっと狭いけどやってみますか？先生もう一回お願いします。

【水源師】

で、さっきひとつ忘れてましたけど、その間にこれがあります。で、指はこうです。はい。で、今度は。それで、はい、まあ、くしゃくしゃして瞑想ができないとか、気持ちが落ち着かないときは、3回くらいやれば、であとはぐっすり寝てもらって、そういう風にすれば心が非常に安定してくる。何かありますか？いいですか？あとは？



ボルボドー、日本の密教の奥義の紋あるお寺の池のハス、インドネシア

質疑応答

【司会者】

何か聞きたいこととか？

チベットの死者の書について

【参加者】

チベットの死者の書について法話の中にあっただけですけども

【水源師】

あー

【参加者】

あれに書かれていることは本当なんですか？

【水源師】

法話の中？

【参加者】

チベットの死者の書っていう、法話の中には、ちょっとそれだけ載っていたんですけど、中身は載ってなくて、その本の中にあることは実際に起こっているのかな、どうかなと。

【司会者】

チベットの死者の書に何が書いてある？

【参加者】

死んでから生まれるまでの間に、

【水源師】

あーそうです。

【参加者】

あれは現実に起こっているんですか？

【水源師】

そうですよ。そうです。現実に起こります。それでその時に、自分がいいと

ころに行きたいとかそう思っても、もう一瞬に行ってしまうから。普段から修行していれば、その、波に押されるという手法を、変える方法があります。それは結局ニミッタをもって、法随観の中で、力があれば、生まれる所を変えることができます。という風に普通はね、そういうことが起こります。閻魔大王のところに行って、時空が遅くなるのですよ。三途の川を渡って。だいたいそうなる。というのは、私みたいな法随観のときはそれを飛ばしてしまう。直ぐに次の世界、空間に入っていきます。普通の場合は三途の川を渡って、橋から落ちるか。落ちたらまたこの世に戻るか、じゃなければ暗き世に行くか。

じゃなければ天界から直接阿弥陀の浄土に行くこともできます。それは浄土禅の、この前、仏光山。富士のあれで、浄土禅をやって。観音様の海潮禅で13名ですかね、全て来世は浄土に生まれることが決定。なぜかと言ったら、やり方を教えている最中に、やっぱりそのエメラルドみたいなグリーンのカリスタルが現れてきて（法然上人の体験された、仏説三部経）、その後巨大な白衣観音さまが現れて、蓮を持っていたのです。そしてその中に私と、全員がその蓮の中に入っていた。それがやっぱり、浄土に生まれるときは蓮の中から生まれる。その通り。

で、実に何故あとで、白衣観音ということが分かったら、私が補陀落観音島行った時に、白衣観音の巨大な像があったわけです。あとで思い出した。あーこの方だ。それで白い、ピンクの蓮の中に、全員、私たち入っていました。という風に、仏光山で瞑想をされた方は、死んだときに浄土で生まれる切符を手に入れた、と。落とさないように(笑)。

間違った宗教の場合どこに吹っ飛ぶかわからない

ところが今の間違った宗教の場合どこに吹き飛ばすかわかりません。というのはこれ、実体じゃないからです。でもね、この宇宙は結局、マトリックスの世界になっていますから。ありとあらゆる世界が発生してしまいます。だから自分が信じ込んだらその世界だけでも、それが本当の意味で愛の世界があるのか。まず無いです。なぜかと言ったら、結局キリスト教の根源とか全部イスラム調べたら、愛を否定してしまいます。人間性を否定してしまいます。

つまりこの宗教は、外宇宙から来た、デーゴンという、6000年前、その、アメリカカルチャーの流れで。だからすべてここから発生しているからです。だからそのあちは幾何学的な建物が大好きなわけです。で、エノクの時代は人類が破滅したといわれる大洪水の前の時代のことで、だからその時代は43万2千年前の時空に入っていくわけ。だから今人類は、5万年とか、3万年とか、クロマニヨン。

ところがミトコンドリアで女性の遺伝子調べたら 20 万年前で、アフリカで始まったと。ところがつい最近、モロッコのマニヨン人類の DNA を調べたら、この骨は 35 万年前。だからもう科学的検証とか追跡していくか、昔の文献見ながら、それから宗教的なものを本当に勉強していかなければ、何にも見えないですよ。で、科学的な宇宙的な工学でも、私工学部にいたから。大体何が起こるかわかっていくわけですね。

私がまだ、40、50 前に電気自動車のことを提唱したのです。「それは絶対できない」と。なぜかと説明する。そんなものかと。今、電気自動車だ。という風になぜ他のメカニックがそう言ったか、そう教えられているからです。自分では考えない教育を受けているからです。また、レアメタルの使い方もその当時は無くて、ネオジウムというマグネットがあるよね。これを使えばフリーエネルギーでフリーモーターができる。もはや動くわけです。このアイデアはね、人間は無理。というのは私、メタロジ（金属学）もやっていたから、その当時。メタロジというのは鉄と色々な物質で、色々なものを作るわけです。新しい鉄鋼とかね。レアメタルを使うということは、一つもアイデアが無かった。その当時。今から 4、50 年前の時代。特にビルクリントン元大統領さんがインターネットをやる、と。おかしい、ことだと、とっていました。

なぜかと言ったら私、その当時、どうして観音様は私たちのことを聞いているのですか？ラジオ放送の一方てき通信はわかるけど。こっちからお話し出来るということは、まったくあなた方小さいときは考えられないでしょう？これが宇宙人のテクノロジー。1947 年にアイゼンハワー大統領がマードックという空軍基地で契約を結びました。その文書が今、公文化されて出てきました。だから私たちわ完全に騙されています。私が 20 年前に言ったら笑われていますけど、もはや笑い事じゃないのです。

だからツインタワーが落ちたでしょう？なぜこの前のロンドンで起きた大火災でなんともないでしょう？めちゃくちゃに物理学を無視しています。まともに信じて生きてきたら。考える事を止めたメカニックと同じ。だからこの戦争法案こと共謀罪。あれは戦前とまったく一緒。戦前で作って、これから戦争をします。ということ。これから戦争に突入します、と。突入したら、まったく人権も何も無いです。ただ死んでいくだけ。死ぬことが国の名誉。これはもう二度とやりませんと言ったのが、またやるわけです。なぜかと言ったらこれが因縁の力なのです。また繰り返して。だから私が小さいとき悪いこと言ったことも、ついポッと出てきて、イヤー因縁のこの恐ろしさの力。だから私たち一人一人でもね、瞑想してこう、やっていかなきゃ国自体の中で、国自体がそうなるのだから、国も生き物だからね、また同じことしてしまう。良い悪い関係ない、良し悪し関係ない。頭で解っても関係なく。だって世界の核不

拡散条約、日本は入らないでしょう？アメリカも入らない。やられた日本が入らない。という風に。よほど若い人たちはこれからしっかりと自分だけでも救えば他人を救えます。瞑想しながら。感化していくから。だけど大きい波は変えられない。

ただしここで法を持てば、大災難が中難、中難が小難になるということが実際に発生してしまいます。だからこの前、あなた方が法を持ったから、北朝鮮の核弾頭は来ません、と。だからあなた方が法を持ったから、戦争は起こりません。ただし経済破壊で進むはずです。つまり悪い因縁が川のように、方向を変えて戦争では無く、これから。じわりじわりと。ま、それが起こってもね、それに巻き込まれないで、死ぬことはないのだから、食べ物はあります。ただそれを食べさせないような仕組みにしようとしているけど、山に行けば山菜もあるし。それから日本にはお米があつてね、瑞穂の国、このお米、すごいですね。麴から醤油から味噌から、なんでもできるのですよね。だからそういうことを覚えておけばね、何とかなる。

まあ、そういうことで、一番大切なのはこの短い時空でいかにお釈迦様に出会うか、本当の意味で出会うか。だからこうして瞑想して。完全に死ぬ前にほかの時空に移っていきます。閉じることはない。なぜかと言ったら輪廻転生で必ず生まれます。必ず。ただしどこに生まれるかが問題。命を絶っても必ず今度はナーマルーパで、暗き世に、変なところに行ったら大変でしょう？浮遊霊とか。それはその物質があります。何の不思議もない。ただ見ないから不思議であつて。また、不思議だ、不思議だということでごまかしているけど。

だからその南伝のスリランカとか、ミャンマーとか、タイとか、あつちの人は心から感じるのですね。だからその、カンボジアの王様は八戒守る、ウパサタの修行をします。宮殿には住まない。普通の農村の家を渡り歩いて、お金は全部農民に与えて、パーティでもお酒を飲まない。ちょっと口つけておしまい。国が安定してしまうのですよね。私がある前にいたときには、その、プノンペンで、銀行の前で警備員が拳銃を持ったり、ものものしい感じだったけど、私自身はあまり恐れなかったけども、次の時に行ったときはもうそれが消えていました。で、道路もサーっと良くなっていたし。だから良い王様を出せば国が非常に良く治まるのですね。まあそういうことで。とめどなく話したけども、いいですか？

【参加者】

はい。

【水源師】

本当にそうなのですよ。だから一番いいことは、お釈迦様に帰依して、法を

学ぶことが一番いいのだけでも、できない場合は仏教ヨガでもやって、そういう仏国を旅してみて、体感して、旅してくるのもいいじゃないでしょうかね。お金もほとんどかかりません、バックパッカーで行けば。それでいいですか？

【参加者】

はい。

【水源師】

本当にそうなのですよ。まだ何か？

神に男神、女神があるという事を隠していた

【参加者】

バチカンにお釈迦様の足跡があるというのは、お釈迦様自身が行かれた？

【水源師】

そうです。そういう風なパーリ語の歌があるのです。またメッカにもそういう足跡置いている。で、アラーと発音していますよね。で、アーメンラー。アラーというのは太陽の神。で、アーメンという神がヘリオポリスでカイロの神で一体化してアーメンラー。だから男神であって奥さんがいないはずだけど、アーメン、アーメントゥー、って言って、男女の神です。昔は、ユダヤ教は男神女神があったけど、今は一神にして隠しているけども。だからユダヤ教のシナゴグ（教会）には二つの柱がありますが現代で二つの男神と説明しています。それでメッカを見ても必ず二つのタワー。twin tower。教会を見ても twin tower。男神女神なのです。それを隠しています。だからツインタワーというのはそのことなのです。

でそのブラックボックスという、四角いでしょう？あれはサターンの意味です。サターン。ジュピター、サターンあるでしょう？輪があるでしょう？だから月のようにして星があるけど、あの実態はサターンを意味している。だから全くその、一般の方が教えられていることとは実態が違うわけです。

このことはさっき言ったジョーダン・マックスウェルが、実はカソリックの家庭で、非常に信仰の篤い家庭で。それで彼は宗教が大好きで調べていったら、言語を調べていくわけです、パピルスから総て調べていったら、「あら、これ違う」と。ということが分かった。

で、今はね、アダムってあるでしょう？プリアダマイトって、アダムの前の人間はどうなのかということが今、論争が起きている。ということが結局、そ

の、ユダヤ教にはアダムという人間がいたけど他にもいるわけなのですよ。このアダムさんがこういう、神と同じテクノロジーのほうに一緒になるということで神のイメージとなったことであって、神が作ったわけじゃないわけです。

で、特に神に男神・女神があるということを隠していたわけです。だからその、アーメンという意味は隠れた神、目に見えない神、と。ギリシャ語で **Invisibly** とか書かれている、同じ神のこと。隠れ神という。でも姿はあるのです。二つ羽付けています。だからシナゴグに行ったら必ず二つの石版を教会の屋根に掲げてます。この、だから、太古のエジプトの神は二つ羽付けています。これがアーメン。でその奥さんがアーメントゥ。結局数千年前だから、で今はこの日本の土器、文明を調べても、ちょうど丸い顔なのです。土器でこう、人間の顔をして。目もここ丸く縁取っているんですよ。で口も丸く。そういう土器が写真有りますよ。ナスカライン (Peru) 行くでしょ。そしたら宇宙人がこうして手を挙げて、その顔と一緒に。本当に一緒です。丸い顔に丸い目と丸い口。この土器、日本の土器に同じ人形があります。

という風にね、仏教というのは、隔たり無いのです。あれこれってそんなことない。すべてオープン。天界、宇宙から、全て繋がっているから。だからそれを隠して、切ってしまった場合は、もはや仏教の教えとは違います。それは人間が作った教えであって、お釈迦様の名前を騙ったことであって、お釈迦様はもっとすごいことを言っていますよ。想像を絶すること。まあ空想科学小説の問題にならないくらいすごいことを言っている。だから逆にそれを発表できないのです。でもすごい力です。私の人生の中でこれほど素晴らしい教えはなかったですね。だからやっぱり日本に生まれて、仏教の国に生まれて、そして外国に行って修行して、ぐるりと周って、やっぱり過去を調べたら何かの深い因縁がありましたね。

念仏とは？

【参加者】

念仏の一念というのはどんな意味なのですか？

【水源師】

念というのはサティ。マインドフル。結局その美味しいもの食べるでしょう？美味しいというその心。その念仏と。仏に帰依するということで、心からこれを食べたい、と。心からこういう仏の、仏と一体化したい、と。そういうことを念仏になります。だから仏に帰依しなければ、他のものに帰依するでしょう？私は一生懸命科学が好きで、その一生懸命勉強して、科学に帰依した場合には、

何か発明してしまうわけです。だから心って凄いものです。その、おいしい料理作りたと思ったら、なんとか作るし。それから日本にはたくさんの匠がいるように。なんとか良いものを作りたいたくさんの匠が出てくるし。

だから心というのは不可思議な。だから心即是仏という。心はそれ、そのもの仏である、と。まあそれくらい深いものをもって、私たちは永遠にその、浮世の奥山で、毎日酒飲んで寝て暮らして起きては死んで。だからいろは歌というのはすごいことなのですよ。すごいですよ、いろは歌の、瞑想をしていけば。あーそうなのか、そうなのか、と。芸術ダンスもいいけども、そういうものに触れることによって進化して、いけばね。私の年代になったら体もね、若いころのようにジャンプしたり、飛んだり跳ねたりできないのですよ。だんだん重くなって。だからこう、どっかりと座って。いやー、緑の葉の下で、さわやかに座って、いいなあと。小さいときに、若い時から座っているでしょ。その恩恵があります。ま、そのほか何か質問ありますか？

心即是仏

【参加者】

心は？

【水源師】

心即是仏。

【参加者】

瞑想しているとそういう風に思えることもありますけど、なかなかずーっと、そういう風に常に思えていたら、すごく日常生活幸せになるのですが。

【水源師】

そうです

【参加者】

なかなかそうはいかないのですが(笑)。

【水源師】

いかないのだけども、なんかそういう風に不可思議な。やっぱり偉い和尚様が言ったことは、なるほど、道理がありますね。それが、若いときはわからない。だんだんこの世を去る前に、なるほどすべて本当だと。だからそういう

言葉に出会うということも年取れば取るほど。私 60 のときに今死んでも幸せだと思ったけども、やっぱり 70 になってもはて、はて、と気が付いてくるわけですね。だから年を取るのが高德だというのはこのことを、知るチャンスあります。だから昔の人は偉いと思います。昔の人のほうが嘘をついていないです。

【参加者】

で、心即是仏ですか。そのように常に心にそれを保つようにする秘訣があればお聞きしたいのですが。

【水源師】

まあ、毎日 5 分でも瞑想しそのうちに何かしていくしか(笑)。それだけです。そのうちに何か、おいしい味が味わえるというか。続けることですね。

【参加者】

普通の日本のお坊さんからは聞けないような。

【水源師】

仕方ないですね、法則がそうになって、その方でいくしかないから。で、それを超えた時にはやっぱりいろんなことがあるでしょうね。でもその方が正しくあっても、100 年前、1000 年前一緒だったら、心の進化は今これだけ変化しているから、やっぱりこう、うまく心がね、しっとり聞けないこともあると思うのです。だからそこでやっぱり、いろんなことがあるみたいです。あまりにもこう四角い中から、その中から出ちゃいけないという風な。でもこれはお釈迦様の教えじゃないですね。そういうお祭りごとであって、お釈迦様の教えとは関係ないですね。だからそこでおかしなことが発生していきます。でも一般の民衆の方はそれを求めているものだから、お坊さんはこうであり、こういうこと。ところが実態の、根本仏教の方を見たら全く違う方法でみんなやっています。そこでお釈迦様の深い教えというのを目の当たりで見ることができます。

【参加者】

それは今日教えていただいた瞑想を続けることで。

自分で走って歩いて、自分で山を登る

【水源師】

そうです。それから自分なりに習得していくことです。だから自分以外にはないです。勉強するのは。人からこうだ、ああだ、じゃなく、自分で走って歩

いて、自分で山を登って初めて、体を使って、実態がわかります。で、人から聞いてそのまま鵜呑みにしていったら、それは何も、自分のものじゃないから、その通り人生いけない場合は、それは自分の責任です。やっぱりお釈迦様は「私の言ったことを確かめてください」と。でその確かめる方法が、さっき私がずーっと今までやってきた瞑想法とか、指導した中にあります。で、それよりもっと詳しく本に書いていますけども、その本の読み方ですね。どうしたらこういうことができるか、というのを私が教えて、そういうことをお釈迦様はして、それがまたなかなかそういうインストラクターが出ないし、その、お経をすぐ読めばお金が入ってくるから、そっちの方にその、丸暗記するほうが流行ってしまっ。実際の修行とかそっちのほうがおざなりになる、と。おざなりになった挙句、行くべきところに行けないということが発生するとか、心の病がたくさん発生してしまう、と。それで、何をやっているか和尚さんもわからないし。だから聞く方は「わかった」と。和尚さんがわからないのにわかるわけがない。という風な、もう、わからないのにお釈迦様はこうだ、菩薩様はこうだ、と。もはや全く何もしなくても、総て分った方々が沢山いますね。

それは体験して初めて言えることであって。で、その前の段階もいっぱいあるし。だから道はこうだからあとは自分で一步一步、歩いて行くしかないのです。だから今のことを続けて行って、1年、2年、3年、私ももう何十年になるか、45年くらい。で、やっぱり、あー良かったと。これをして良かったなど。若いときは、何でも体も動かさず、ただバカみたいに座っているのかなと思っただけけれども、やっぱり今見たらたくさんのご褒美が来て、たくさんの方がその心が豊かになって行って、今度は人に分けてあげることができる、と。前の金もうけの人生だったらこうはなっていないはず。まあ政治家であってもこうはなっていない。政治家で論争とか闘争で激しい戦いやっているでしょうね(笑)。まあそういうことで。何かありますか？

【参加者】

質問というかお礼ではあるんですけど、貴重な教を教えてくださいありがとうございます。で、僕、以前、タクサーン僧院ってブータンにあるじゃないですか。高いところ。

【水源師】

あー

【参加者】

まあそこにあつたところで、ガイドの方や僧の方からいろんな情報を聞かせ

ていただいていたので、そういう教えに思いをはせながら、今回教えていただいた瞑想だったりヨガだったりっていうのに重ねて行って、まあ少しでも、まずは自分から良くなって行って、周りにやさしくなればと。

【水源師】

私もそうでした。あちこち訪ねて行っているうちにこうなりました。良いと思います。すばらしいことです。

【参加者】

本日はどうもありがとうございました。

【司会者】

人生の悩み事でも会社のことも、家のことも、なんでもアドバイスしてくださいますので。カナダに帰ってしまいますので。皆さんもなんでも聞いた方がよいと思います。

【参加者】

一緒に行ったタクサーン僧院、一緒に行った仲なので、感謝を同じく、先生とお呼びしても間違いはないですか？

【水源師】

ありがとうございます。素晴らしい体験しましたね。良かったです。あそこはなんか大乘でも立派に修行されるお坊さんがいっぱいいるようで、特にあそこは護摩焚きやるのですよね。チベット自体は護摩焚きしないのです。何故かと言ったら木がないから。その下に降りてくればニンマのあそこで護摩焚き。ちょっと日本の高野山とは違いますけども。私も非常に興味がありました。何かありますか？

ニミッタについて

【参加者】

以前お昼寝をしていたときに、目覚める直前にちょっと意識状態が特殊になって、なんかこう意識ははっきりしているのですが、なんかまだ完全に目覚めてなくて、という状態になった時にちょうどこの水晶みたいな、なんか丸い玉が見えて、あーきれいだな、なんだろうなと思ったりして、あれってなんなのかなと。

【水源師】

あーそれはニミッタの一種で、深い瞑想に入ればね、寝る状態と、目の覚める状態の間に入っていきます。そのときにここが非常に落ち着いていた時に、自分の空気が光の玉になって、そういう風に見えます。それでその時にいろんな現象が見えます。

【参加者】

あれがニミッタ？

【水源師】

それがニミッタの一種です。白い。

【参加者】

あれが、瞑想していると長時間見えるようになってくるのですか？

【水源師】

まあ長時間座らなくても出る人もいるし。その、環境も非常に影響してきます。それでニミッタをやっぱり最低 45 分から 1 時間出せば、この使い方があります。正式には大体 3 時間半で法随観の正課に入っていきますけども。というのはこの力がなければ、途中で崩れてしまうことがある。ほとんどのお坊さんが 1 時間、1 時間半でやった場合には、やったつもりでやってないわけです。で、ある人もやったという話を聞いて、内容を聞けば、はてな？ということを行っているんだけど、この人は本も出してしまふ。いやー、これはまた大変だな、と。私は言わないけど。

【参加者】

何かその、本物の先生かどうかというのが、本当に悟りを啓いた先生かどうかというのが、ちょっとわからなくて。なんかでも日本で、あの先生もこの先生も悟りを啓いたとか、パオで修行されたとか、という方が何人かいらっしゃるみたいなのですけども。

【水源師】

パオに行っても悟りを啓くということではないですよ。で、パオに行っても、皆の前でインタビュー受けるから、どういう状態になったかすぐわかります。ただ日本からは未だに誰も出ていません。

【参加者】

Yさんは？

【水源師】

あの方は、正式にはやってないです。

【参加者】

やってないんですか？

【水源師】

2年半で日本に帰ってきて、また帰ってその後、ネパールに行ったと。で、ネパールで瞑想を教えていたと。だから正式にはやってなくて、パオでは禪定に入っていないと言っています。

【参加者】

あ、そうなのですか。

【水源師】

そうです。だからそういう風にね、私も言いたくないし、言わなくてもいいけど、「日本ではあなた以外には誰も出ていません」と正式に言われました。正式に言われました。だから結局、それをチェックする機能が日本にはないからです。みんなその言葉で言えば「そうだ」と。分かる訳ないけど、それで「そうだ」となるから、結局本当の法を得られない。教える人も周りからワイワイ持ち上げられるから、今度降りることができなくて、そのまま行ってしまう、と。で、お互いに悲惨な状態になって、変なことになれば、その、オウム真理教になってしまう。

だから正式に本当に勉強をしていくしかないわけです。で、正式に勉強していけば、今みたいに、スリランカでもすぐこういう風に発展していく。話が分かるから。で、外国でそういう話を一回もないということは、やっぱり外国で教育を受けているから、これはやっぱり問題が発生します。ということは、そういう国でお世話になっているから、どんどん恩返しに行かないと。で、日本だけに居て、そういうのは、やっぱり「？」とクエスチョンマークがつきまです。特に外国でどんどん英語で行って、通訳しないと、話をしないといけないでしょう？それができなかつたら、「どうして勉強しましたか？」となる。誰が通訳したか。通訳した人が悟りを啓いた方だったら細かいことを教えられるけど、通訳した人は話聞いているだけで、何が起きているかわからないわけで

すよ。トランスミッションの内部の機構、それ通訳するけど、通訳している人もわからないから、聞いた本人もわからない。何を言っているのか。まあそういうことになります。

瞑想するのが一番

【参加者】

チベットとか密教で灌頂ってあるじゃないですか。灌頂。真言密教とかで結縁灌頂とか。ああいうものって受けた方がいいのでしょうか？

【水源師】

いやあ、まあ、瞑想した方が良いんじゃない？(笑)。チベットはチベット文明で、非常に高度に発展したそっちの文化だから、チベットの人が日本の文化を分かるのは非常に難しいように、分かるところからやった方が良いのじゃないでしょうかね？

【参加者】

そうなのですか。

【水源師】

確かに素晴らしい瞑想があるけども、そういう方たちは表に出ません。ほとんどチベット語だけです。だから英語でペラペラ話すのは、クエスチョンマーク。ということになりますね。というのも私が実際韓国で、塔頭（タッチュウ）ですね。ニンマ寺にはいっぱいタッチュウがあつてね。ニンマ寺の中で。その人が結局ナーマルーパをどういう風に見ますかと回答できなかつた。これは恐ろしいことです。恐ろしい。法随観がわからない、と。ただそのとき私は英語で討論。そのとき韓国語で英語を通訳したいと、ストップさせました。何故かと言ったらお坊さん同士で、私が恥かかせることは出来ないから。これはお坊さん同士の話で、英語のわかる人はもうびっくりしている、していましたね。だからそういう風に、結局外国に行って、英語をたとえ深くわかって、瞑想の体験がなければ、何を意味しているかも分からないし。特にミャンマーはミャンマー英語で、一体誰が通訳して何をやっているか、非常に疑問がありますね。

帰依することによって、サティ、マインドフルネス、が発生する

【参加者】

仏様を毎日拝んだりとか、例えば観音様とかに帰依して、あまり、どうなのですか？毎日拝んだり。

【水源師】

それは良いことですよ。つまり信じる心、帰依。帰依することによって、サティ、マインドフルネス、が発生します。それが無くてただ、マインドフル瞑想。それは全く意味のないこと。

【参加者】

観音様だったら観音様だけを拝んだ方がいいのですか？

【水源師】

でも良いですし、お釈迦様でも、一緒です。実は一体。ただ自分が一番気に合う、そういうところから入っていくのが一番よろしい。お地藏様でもみんな一緒なのです。

【参加者】

わかりました。ありがとうございます。

【参加者】

瞑想していて、寝ているのか、起きているのか、わからなくて、自分で進んでいく中で、どうやって、これはちゃんとできているな、とか、いいのかなって、座りながら思っていたのですけれど。

寝ているのか 起きているのか分らない

【水源師】

そのね、寝ているのかな、起きているのかな、って、わからない。もう最高のところですよ(笑)。それがやっつけばそれが消えてしまいます。その現象をずーっとやっつけば、その中でいろんな現象が見え始めますが、それに溺れないで、そこをずーっと。で、それがね、それをずーっと見ていけば、今度は心が幕をかぶせて、見せないようにしてしまう。そういうことが発生しなくな

ります。でもまあ、今一番良いところだから、楽しんでください。

【参加者】

はい。それは瞑想をあまりしたことが無くて、そういう段階のほうが、そういう状態になりやすいってことですか？

【水源師】

はい、それを通過したときに、なんか風呂に入ったような気分になります。スカーツとして、その後。で、それで垢が取れてしまいます。で、それでやっていって、またそういう事態が発生します。でも、そこが一番良いところ。だからまあ、先先を見るのも必要ですけども、一步一步ゆっくり楽しんで、やってください。それが一番いいです。また、何かありますか？

ナーマルーパ。アニッチャ、ドウツカ、アナッタ

【司会者】

先生さっき、こういう風な手の形をされましたよね。ナーマルーパ。

【水源師】

はい、ナーマルーパ。アニッチャ、ドウツカ、アナッタ。

【司会者】

これは、阿弥陀様の手の形がこういう風にしていますよね。

【水源師】

いやお釈迦様。

【司会者】

いや仏像で。

【水源師】

はい。で、これが、外にナーマルーパ。内もナーマルーパ。外もアニッチャ、ドウツカ、アナッタ。内もアニッチャ、ドウツカ、アナッタ。これが全宇宙こういう風になっている。で、これは、お釈迦様の悟った、無常、苦、無我。この3つが合わされば、アスバ、汚れが発生します。ということ、法随観やつ

ていけば見えます。だからその色、色即是空の色。ナーマ。受想行色のこと。五蘊。正見の五蘊のナーマ。このこと。ということが明快にあっちでは分かるから。

【司会者】

この形で？ぱっと分かる？

【水源師】

はい、びっくりして。で、これが般若心経の核心のことである、と説明して。五蘊正見。

【司会者】

はい。

【水源師】

受想行色のつながり。

【司会者】

それはその、一般の方なのですよ。

【水源師】

そうです。

【司会者】

信者の方ではなくて。ごくごく普通の方がそれを分かる。

【水源師】

そうですよ。分かる。

【司会者】

凄い事ですね。

【水源師】

すごい。だからやっぱりお釈迦様が、2500、2600年前に言った、ただその経典を読んでいるだけじゃなくそういう不可思議な体験もいっぱいしているわけです。

【参加者】

質問じゃないですけど、文殊菩薩様の不思議な写真って、Webか何かで僕たちも見せていただくことってできますか？

【水源師】

はいはい、あの、ちゃんと要求があれば。

【司会者】

いや、あの、今回合宿に参加した人だけですよ？そう仰ってたような(笑)

【水源師】

あーそうですか。日本の一乗禅の会の方が決めることで、すみません。

【司会者】

参加された方のみお渡ししてくださいって、仰ってましたよ(笑)

【水源師】

あの、五台山に行けばちゃんとありますよ。すごい写真です。すみません。

【司会者】

明日、プリントアウトできたらしておきましょうか？

【水源師】

そうですね、明日。

【参加者】

明日、僕来れないんです(笑)

【水源師】

あーそうですか、すみません、残念です。何かありますか？

【参加者】

お釈迦様の足跡の話で、メッカと、バチカンが左足で、スリランカと…

【水源師】

インドのアナコンダ。

【参加者】

右足と左足で意味合って何か？

【水源師】

あるのでしょうか(笑)。お釈迦様の偉大なことだからちょっとわからないけど。

【参加者】

仏舎利を祀っているところって、日本とか色々お釈迦様の仏舎利を祀ってま
すけども、いろんなところにありますけど、あれは全部、神聖なものを祀って？

【水源師】

私が仏舎利のあるストゥーパ、スリランカに行けば、やっぱりたくさんある
からね。やっぱりパワー感じますね。すごいパワー感じます。で、瞑想もしや
すいです。

【参加者】

日本でもいくつか仏舎利を祀っていますけど、あれも神聖なものが使われて
いるってことなのですかね？

【水源師】

で、年がら年中公開しないです、西大寺。西大寺は1年に1回。

【参加者】

奈良の？

【水源師】

はい、奈良の西大寺。3日くらい。

【参加者】

西大寺さんは、お持ちなのですか？

【水源師】

はい、持っています。本物は滅多にないみたいですよ。やっぱり行ったらパ
ワー感じました。西大寺。いいですか？

第三の目で見ると

【参加者】

日本語で、意識と心って言葉ありますけど、これは同じ？

【水源師】

英語では一緒です。mind、consciousness。全てお互いの言葉変えて、その、soul。全部一体化しています。だから日本語で魂。心。意識。こんがらがってしまう。だからさっき言ったように。心の仕組みは、結局、メッタ、カルーナ、ムディター、ウペッカ、のエネルギー体の中が心処になって、それで5つ。六根。六根清浄の、結局、目、それから耳、口、鼻、それから舌。と、感じる。これ五蘊、が心処に入ってきて6つ。六処。で六根清浄と。で、これを言っているわけなのです。だからあなたが私を見ているでしょう？心の中で同じ時空を作っているわけです。あなたの見た感じの時空、あなたの匂い、プレッシャー、この空間、おんなじものを心の時空で作っている。で、心の時空は何かと見ることができない。エックスレイでも。で、あなたのこの目で見ているわけじゃないのです。この中の、パイングラんというのかな？

【司会者】

松果体？

【水源師】

松果体。で、見ます。だから目をつぶっても松果体を発生させれば第三の目といって、見ることが出来ます。だから法随観では第三の目で見ます。この目では見ていきません。

【参加者】

その意識というのは、並行して二つの意識がこう、流れるっていうことは、あるのですか？

【水源師】

3つも4つも発生することがあります。

【参加者】

あ、何個も？

【水源師】

はい、それを結局、多角性人格とか。

【参加者】

あの、時間的に一緒？

【水源師】

一つじゃなく、3つ、4つ、発生することもある。

【参加者】

一緒の時間に？

【水源師】

一緒の時間に。だからおかしくなってしまう。なぜそういうことが発生するかといったら、結局心の中に、他の生命体の心が入っていることもあるし。で、過去の強烈な、その意識が、そっちの方向で考えることもあるし、今この生きている心で考えることもある、と。非常に複雑になっているわけです。だから結局、頭がおかしいとみんな思っているけども、実はそうじゃなく、それをきれいに整理して教えてくれる先生がいないから、そういう風に見るだけであって、だから心というのはそう単純ではないわけです。だから今みたいにこう、一つの心で見ているでしょう？私と話して。これで良いわけです。これだけやればいいことであって、あとはあまり考えないで。で、あとは静かに座って。5分でも10分でも瞑想していけば、そういう一つの心に集中できるわけです。それが激しく動いた場合にはもう、同時に二つ考えて、おかしいことになっちゃう。それが良いように思うけれども、実はあんまり良くない。

【司会者】

先生、例えば、認知症とかってありますよね。あーいう状態になっても結局、心は動いているわけですよね？

認知症は五蘊のつながりが断絶している

【水源師】

そうです、だから結局ね、認知症というのは結局、五蘊のつながりが断絶しているわけです。そのwifi。wifiの機能が働いてない。だからwifiの機能を働かせれば、正常になるわけ。

【司会者】

でもカルマも発生するわけですよね？

【水源師】

カルマはまた別の話。私は今、機能のことだけ。ファンクション。どういう風に、コンピュータみたいになっていることを説明している。ところが医学的には、全く瞑想の本当の体験をしていないから何が発生しているかわかっていない。だからこういう人たちは、施設に閉じ込める前に、発生する前にちゃんとした環境を与えれば、農場で働いたり、花を植えたり、そういう実際のことをやれば、発生するわけがありません。

ところが同じ部屋で、同じ食事して、同じようなテレビ見て、同じ人と話したら、やっぱりやられてしまいますよ。特にこういう、東京社会じゃ、ビルディングで、自然界から完全に隔離されて、してしまったら、やっぱりならないのがおかしい。ならないのがおかしい。心がそうになってしまうから。だからこれがもう通用しなくて、認知症というけども、必要ないの、そもそも。

【司会者】

あー。

【水源師】

全く必要ないもの。ただ行って、食べて、誰がいる、関係ないもの。

【司会者】

都会病ですか？

【水源師】

そうそう。それが結局、都会病というか現代病。車での生活で、身体の機能が衰えてしまうと同時に心が身体との断絶が発生します。ところが山歩き、野歩き、石の上を歩いたら、認知症どころの話じゃないわけです。でもアメリカのサイコロジストがいろんな病名をつけて、変なことをして、病気を作り上げるわけです。病気じゃない人をますます薬与えて、心の作用ではおかしいにしよう。私はそういう風に見ますね。

【司会者】

スリランカに認知症はいらっしゃらない？

【水源師】

無いみたいです。その前に死んでしまうか、又は体を動かして働かなければ生きていけない。だから、私と同じような年齢の人が、筋肉モリモリで働いている。都会では考えられない。まず車椅子。だから全身を動かしているものだから。認知症どころの話じゃない(笑)。自分で野菜を植えて、作って食べることがまず大切だから、で、大自然の中、裸足で。コツコツとやっていましたね。

【司会者】

何が幸せかわからないですね。

【水源師】

わからないですね。なぜかと言ったら、綺麗な病院で施設が良くて、空調もあり、看護婦さんも来て、ピーンと鳴らしたらすぐ来るんだけど、まあそこで1年以上横たわって、痛い痛い、と。それで4時間ごとにモルヒネ打ってもらって、その50代、60代の人ですかね？そうして70代の私の同年代の人が、こう、ニコニコして、お寺の中で、一生懸命穴掘ったり、そのウィルバロー（1輪の手押し車）で土積んで「私、力があるでしょう」って。こうやって食べてニコニコして。人間として本当に生きる、ということ深く考えた場合には、その、病棟で痛い痛い完全療養されるのがいいのか、そして裸足でそんなもう、パンツ一つ着けながら、裸みたいで一生懸命働いてそれでニコニコして。頭おかしくないですよ(笑)。お釈迦様にちゃんと帰依して。そのお寺で働くことによって、奉仕するというその、幸せがある。で、誇りもあるわけです。私は働いているのだ、と。お寺のために。奉仕している、と。そこからできるエネルギーというか、光というか。

で、じゃあどっちを選ぶかと言ったら、病棟でそんな苦しんでいつ死ぬかわからないし。で、お医者さんも来ない。ほったらかし。お手上げ。で、本人は救われるはずが救われないということで、もう、強烈な苦しみと怒りで生きていく。そしたらそこで瞑想しなさい、ってこれは無理だし。そこで旨い話しても、もう聞く耳も無いと思う。だから結局、見ていたら若いときから、浴びるように水のごとお酒を飲んで、そういう風なことが来たのかなとか、いろんな事がるのだろうけど、まあ、何分ほどほどに。心を安らげて、こうして生きていけばね、法にも出会えるし、悪い因縁から遠ざかることもできるし、そして来世は良い方向に行く可能性がいっぱいあるわけなのですけども。やっぱり、そんなお経なんか信じられないし、そんなことあるかと言って。

ま、それはそれで生きていけば、大体が、今みたいな惨憺たる人生になっていますね。じゃなければよほど、生きているときに奉仕するとか、人のためと

か、高德な人は不思議なことにほとんど病気でいませんね。でも年齢ということがありますからね。特に野際陽子さんが他界されましたけども、若いときは綺麗でね。本当に上品で、心が優れた方のように見えました。でも激しい、激しい生活の中で、どうしてもそうなるのでしょうかね。ストレスからくる。そういう心の余裕というのが無いし。だからその狭間というか、だから逆に本当にあまり物がなく、ほどほどに生きていけばね、一番抵抗がなく、うまく生きていけると思うのです。大体そういうことで、また何かありますか？

というのはこの世の中は、太古のことを調べていったら、考古学から、いろんな文献調べていったら、恐ろしい生命体がいっぱい入ってきていますね。ただ、お釈迦様のこの本当の教えが、今こうして、仏国、この東洋に伝わっているから、まだ安定しているけど。私が旅してみて、そういうものがないところは、やっぱり殺伐とした感じですね。本当に何もなかった。マチュピチュ、ペルーとか、ああいうところ行ってみるでしょう？メキシコとかいろんなところ。その、何か、私たちが受けている、深い人間性というか、その、カルーナの、そういうバイブレーションがあんまり感じられなかった。人間自体は全然関係ないですよ。文化の中でそうなるのでしょうかね。巨大遺跡文明で、そりゃすごいものを持っているのに、なぜそうなのかと。まあその、本当の中で生きていくということは凄い事なのですね。

中国で、2000年前。白馬山にね、王様が金の人の夢を見た。これはどういうことかっていうのです。それはインドに生まれた聖者、お釈迦様のことでですよ。それで白馬山というお寺を作ったということなのですよ。最初、2200年前。キングアショーカ大王は全世界にミッシヨナリーを送って、古代ローマ、エジプト、ローマには全部送ったみたいだけど、こっちの方にしか残らなかった。

特に今最近グランドキャニオンで発見された10メートル級の巨大な仏があるわけですね。洞窟の中に。で、アメリカは隠しているけども、そこのそばに軍荼利菩薩のような方がお仕えしております、大体3メートルくらいの大きさです。世紀4ADの昔、中国の方が、文献もあります。中国の偉いお坊さんが、カリフォルニアの方に行ったという、で帰ってきたという。だからミッシヨナリーは出しているわけなのですね。だからあっちの、ノースインディアンの人と、アメリカインディアンの人と話をすれば、非常に仏教的な考えが強いです。輪廻転生と。で、獲物を捕るけども、私もまた獲物になって、身を捧げるのだという風な、そういう、取って食べるだけじゃなく、私たち変わる、と。そういう。

【参加者】

グランドキャニオンは彫ってあるのですか？

【水源師】

巨大な仏像があります。そこには14名のスナイパーがいて、入らせないように。だってコロンブスの前でしょ、プロミスランド（神の約束の大地）が崩れてしまう。

【参加者】

中国領土になっちゃう？

中国は2000年前、全世界と交易をしていた

【水源師】

中国領土ってことはないでしょうけども、世界は人類のものであるけども、まあ、なんていうかな。中国の文献にはそういう文献があって、2000年前にやっぱりエクアドルに送っている、と。2000年前ですよ。だから全世界に交易しているわけなのですけども。1000年前に突然来なくなった、と。ジンギスカンの時ですね。あの時から、メキシコの人には東からの船が来なくなった、と。その後、西からの船が来た、と。でもその政治、ジオロジーポリティクスとか、やっぱり領土の取り合いの問題があり、いつの世でも発生するものだから、都合のいい方向に。

でもやっぱり法の下でゆっくり生きていけば、あまりそういうことも関係ないですけどね。だからその、私たちは中国に非常に恩恵を受けていますよね。あそこでもう10人いれば9人まで命を落として、経典を持ってきたのですから。で、こうして日本にある、と。で、この日本で、守ったおかげで今はこういう風に点検できるわけですよ。中国も大変な内乱とか戦争が起こって、いっぱい焼けて経典はなくなったり。それで今、チベットには100万以上の文献があるけど、誰も読めないのですよ。というのはダライ・ラマ法王が、言っていました。「私が鍵を持っています」と。どこどこの箱をどこにやればこれがわかる、と。鍵がダライ・ラマ法王です。だから小さいときからそれを教えられていると法王さまが直接言って居られました。

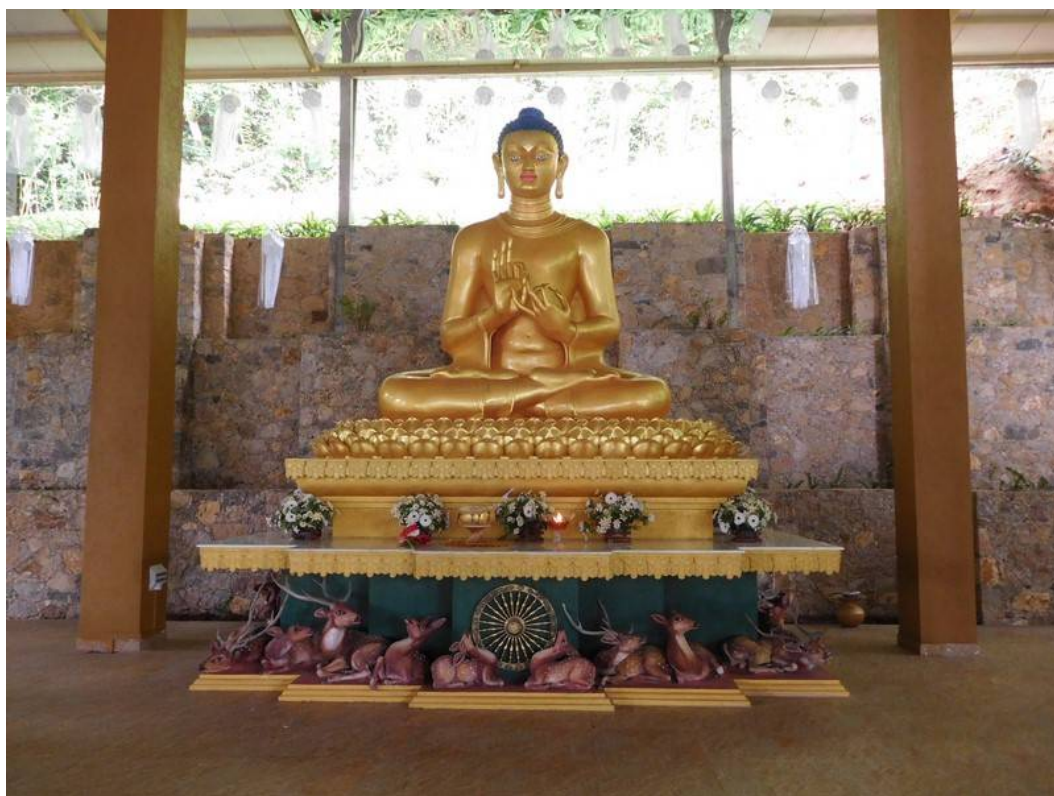
だからありとあらゆる手法がチベットにあるわけです。そのチベットの手法はナランダ大学の教授が、イスラムが来る前に、皆逃げてチベットにいったわけです（ナランダ大学はイスラムによって3か月燃えた、マンダレイのお寺は英軍によって3日燃えた）。なぜかと言ったら、ナランダにチベットの大学があ

ります。そこで教授に「あなたがたの先生はナランダ大学からチベットに逃げて、そこで教えたでしょう？」と。はいそうです、と。だからナランダ大学の知識のすべてはチベットにあります。だからその時に、今から20年以上前です。そのときに「お願いがあります。この金を使って、中国と仲良くしてください」と。「このままいったら大変なことになります」と。でそのあと、ダルマサーラにて若い青年の会長とお話して、このままじゃおかしくなるから、和解しなさい、と。その時に、ケンブリッジ大学にダライ・ラマさんのお兄さんとお姉さんが勉強しているのかな。で、そこから直接中国政府の方に話し合いに行ったけども、決裂してしまったんですね。

というのは何故かといったら、50年も家を空けたらね、他のチベットのお坊さん行くところがないでしょう？で、また、農地解放が起こったわけです。というのは、昔は大きいお寺が農地を持っているわけです。で農民がその下で働いているから。この問題の解決があるわけです。いろんな問題があります。でもダライ・ラマ法王さんは良い人でね。私はやっぱり王座のあれはいらぬ。ただ普通のお坊さんで、ただただ洞窟に入って修行したいです、と。そりゃそうでしょうね。朝から晩まで付き添いで。本当の勉強というか、本当の意味での僧として生きたいわけ。ただ普通に。いろんな事考えずに。強烈な嵐の中で、誰だって嫌でしょうね。仕方ないですね、そういう、因果関係というか、そういう風になってしまっ

【司会者】

よろしいでしょうか？それでは最後に皆さんと回向文を読んで終わりにしたいと思います。



水源禪師法話集 81

(2017年6月17日 東京法話会 1日目)

2019年2月11日発行

編集兼発行 一乗禪の会